



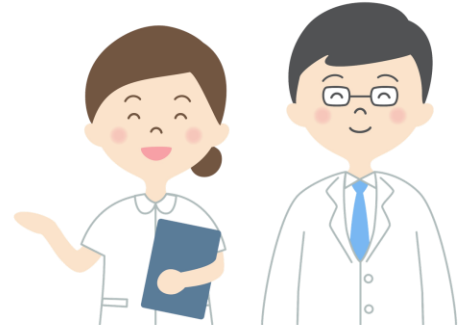
救急受診のご案内

秋田労災病院では24時間体制の救急医療を行っています。
しかし、各診療科の専門医が常に待機しているわけではありません。
まずはお電話による連絡の上ご来院ください。

救急受診の連絡先：0186-52-3131

◇お電話では次の6項目についてお尋ねいたします。

- 1 患者様のお名前
- 2 患者様の年齢と性別
- 3 どんな症状ですか？（わかる範囲でお答えください）
- 4 以前に秋田労災病院を受診されたことはありますか。
- 5 受診したことがある：秋田労災病院の診察券のID番号を教えてください。
受診したことがない（診察券が見つからない場合）：生年月日を教えてください。
- 6 来院されるまでどのくらい時間がかかりますか？（何時に来ますか？）



◇ご来院の際は夜間・救急出入口からお入りください。

◇事務当直室で受付手続きをしてください。

◇来院されてから診察までの流れ

救急外来へ来院
受付・問診

トリアージ

- ①第一印象による評価（15秒）
- ②異常がなければ問診をもとに
血圧・体温などを測ります。

優先度の決定

緊急 準緊急
早めに診察開始

低緊急 非緊急
待合室で待機

院内トリアージ基準表（緊急時判定カテゴリー）

緊急度	定義	症状
赤 緊急	<ul style="list-style-type: none"> ・すでに生理学的に生命危機に瀕している病態 ・病態が増悪傾向にあり、急激に悪化、急変する可能性のある病態。 ※痛み等の我慢できない訴え、症状についても考慮。VSの異常、ひどい痛み、病態の増悪傾向、急変の可能性を総合的に考える 	心停止、昏睡、重篤な呼吸困難、心原性を疑わせる胸痛、ショック状態、広範囲熱唱など
黄 準緊急	<ul style="list-style-type: none"> ・2時間を目安とした時間経過が生命予後・機能予後に影響を及ぼす病態。 ※痛み等の我慢できない訴え、症状についても考慮 	激しい頭痛、脳血管障害疑い、開放性骨折、激しい腹痛、喘息重積発作、薬物過量服用などの自殺企図など
緑 低緊急	<ul style="list-style-type: none"> ・上記に該当しないが、診察が必要な病態 	アルコール中毒、非心原性と考えられる胸痛、腹痛、骨折、活動性外出血
白 非緊急	<ul style="list-style-type: none"> 上記に該当せず医療を必要としない状態 	発熱、咽頭痛、下痢、打撲、捻挫、擦過傷、皮疹など

◇◇ご理解とご協力をお願い◇◇

秋田労災病院の救急室では緊急性の高い方を優先的に診療しています。医師又は看護師がトリアージ（※1）を行い診療の順番を判断します。トリアージで診療の優先順位を決めるため、場合によっては後から受付された方が先に診療を受けることがあります。また、救急車で来院した場合でも緊急性が低いと判断した場合は、お待ちいただくことがあります。

※1 トリアージとは患者様の緊急度や重症度を診たうえで、診療の優先順位を判断することを言います。